



六甲カトリック教会 教会報



交わりの回復に向けて

主任司祭 英 隆一朗, s. j.



ようやく秋になりました。いかがお過ごしでしょうか。ただ気温の変化が激しいので、お体にお気を付けください。

さて、10月8日(土)には、秋の黙想会がありました。イエズス会の山内神父指導で、テーマは、「イエズス会の使徒職全体の方向性(Universal Apostolic Preferences, 通称UAPs)」でした。このテーマは次号の巻頭言で説明したいと思います。

世界規模で共通する課題もありますが、日本独自の課題もあります。それは高齢化社会への対応です(先進諸国で共通するもので、日本が一番進んでいる)。教会としてもこの課題を意識していきたいです。幸い、この教会には三日月会(70歳以上の信徒が自動入会になる)がありますので、三日月会の活動をより活性化していきたいです(1つの提案は4頁参照)。

11月より、コロナウイルスによる新規感染者の減少と社会全体の緩和の動きに合わせて、主日ミサのやり方を大幅に緩和したいと思います。もう少し自由にミサに参加できて、しかも1つのミサに人が集中しないような配慮を合わせて、以下のように変更します。

1. 聖堂のテープ貼りを止めて、全席、1つおきに座る。
2. 10時と11時30分のミサの地区割りを止めて、すべてのミサに自由に参加できる。
3. 主日ミサの時間を変更する。10時と11時30分から、9時と11時の2回にする。

また、11月27日(日)から日本語ミサの典礼のことばが変更になります。細かい文言がかなり変更します。ミサにあずかる際は、「ミサ式次第(光明社)」(頒布価格100円)を持参してご参加ください(受付で頒布予定)。当分の間はそれを見ながら、ミサを進めていきましょう。事前に2回ほど講習会を開きます(11月20日(日)14時、11月26日(土)13時、聖堂にて)ので、よかったらご参加ください。参加できない方は、ネットでも解説動画が出ています。

例えば、

大阪教区典礼委員会:ミサ解説

<https://www.youtube.com/watch?v=LTz6hxPY6VE&t=1911s>

横浜教区典礼委員会:模擬ミサ

<https://youtu.be/ll82flgJxYI>



大阪教区



横浜教区

などをご覧ください。最初は少し混乱するかもしれませんが、徐々に慣れていくと思います。

感染症の勢いが衰えている中で、私たちに何ができるか慎重に識別しながら、教会活動を再開していきたいです。感染のリスクを考慮しながらも信徒同士がもう少し自由に、親密に交わりながら、福音の喜び・神の国の幸せを分かち合うことができるように、これからともに歩んでいきましょう。

2022 年度第 3 回小教区評議会議事録（要約）

日時 2022 年 10 月 9 日（日）13:00～15:25

場所 信徒会館 第 1, 第 2 会議室

出席者 レンゾ・デ・ルカ, s. j. イエズス会日本管区長 英主任司祭、中村神父、三垣副議長、大上・多田両書記、蛭田（財務部、三日月会）、松平（宣教、養成部）、中西（典礼部）、井川直（地区会）井川伸（社会活動部）、藤井（婦人会）、吉村（教会学校）、本下（施設管理部）、詫（広報部）、大鶴（事務所）、安田（オープンスペースチームリーダー）

◇レンゾ管区長から

- ・イエズス会の UAPs (Universal Apostolic Preferences) の 4 つの方向付け
①イグナチオの霊性をすべての分野に生かす。②若者とともに歩む。③虐げられている人、差別されている人、貧しい人たちとともに歩む。④環境に配慮する。アジアでは特に③と④が大切。
- ・イエズス会日本管区の司牧者は現在 146 名と少ない。高齢化も進んでいる。六甲教会には責任をもってイエズス会から派遣する覚悟であるが、現状は厳しい。
- ・信徒の皆さんの支えを期待する。

I 英主任司祭から

- ・「六甲教会の祈り」の精神で「出向いていく教会」を引き続き柱とする。
- ・来年度は UAPs の課題を皆と分かち合い、共同識別の場をつくる。
- ・三日月会は「高齢者の神へのとりなしの祈り」を軸に活動してもらいたい。また、誕生日カードの代わりに主任司祭からの手紙を送ることにする。
- ・SNS、オープンスペースの活用 地域社会との接点を高める。

II 報告事項

1) 教会の発信力強化のための各チームからの報告

◇（オープンスペースチームリーダー・安田）

夜間の開館時間は平日（月火木金）21 時まで。水曜日は 17 時まで。

神父の夕食時間帯（18:30～19:30）の対応が課題、フリー WiFi 環境、図書室の利用も可。概ね順調な滑り出しである。

◇（SNS チームリーダー・松平）

現行のホームページの更新を活発にしつつ、神学生ニティンさんの手で新しいホームページの立ち上げをはかる。さらにツイッター、フェイスブック、インスタグラムを立ち上げる。ユーチューブも活用する。

2) イグナチオ喫茶再開について（藤井）

10 月 2 日に再開。

問題点①第 1 主日なので手話ミサがあり、そちらに参加したい人もいる。

②当番が徹底せず、人手不足が否めない。③募金箱を置くことも考える。

3) 地区役員会（井川直）

10 月 16 日（日）にバザー委員会を開く。

- ・バザー委員会終了後に教会近隣に案内ちらしを配布する。
- ・物品販売とは別に教会学校の子もたちが募金箱をもって会場を回ることになった。募金箱には献金先を明記する。

4) 平和旬間（松平）

ビスカルド篤子さんの講演会参加者 38 人、写真展は広報活動が不十分で入場者数が少なかった。

5) 教会学校（吉村）

8 月 28 日にデイキャンプを実施。宿泊は出来ず教会内でのデイキャンプになった。参加 25 人とリーダー 20 人。

6) 学習会（井川伸）

下川正嗣神父のお話。10 月 18 日開催、イグナチオホール、70 人余参加。

7) 祈りと音楽の集い

メルカールトさんのオルガン演奏、9 月 25 日開催。116 人参加。次回はクリスマス音楽の集いを 12 月 18 日（日）に開く予定。来年は 3 月 19 日（日）の予定（2 月 12 日より延期）。

8) 秋の黙想会（松平）

山内保憲神父の講話と黙想指導、9 月 8 日（土）開催、49 人参加。

9) 施設管理部（本下）

- ・信徒会館 3 階司祭室の空調工事、控室以外の 4 室の壁紙張替を 8 月末に完了。
- ・ベルタワー復旧工事を 10 月 15 日～12 月 6 日をめどに行う。十字架の避雷設備改修、外壁補修などを経て、クリスマスには新装されたベルタワーになる。
- ・庭園の植栽、計画的に整備を行う。
- ・女子トイレの水洗機能破損は 11 月のバザーまでに修復する。
- ・定期清掃（業者清掃）は 11 月から奇数月の第 4 月曜日に変更する。今期中は 11 月 28 日、来年 1 月 23 日、3 月 27 日になる。
- ・その他老朽化設備の修復。

Ⅲ 検討事項

1) 今後の行事

宣教部講演会 12 月 3 日 英主任司祭

三日月会 11 月の例会は休会、1 月に新年会、3 月は例会予定。

2) クリスマスミサの回数と時間

5 回（15 時、16 時半、18 時、19 時半、21 時。16 時半は子どもとともに捧げるミサ）。

3) 七五三祝福式 11 月 20 日（日）11 時ミサで。

4) 新成人祝福式と教会新年会（1 月 8 日）

新成人祝福は 11 時ミサにて行う。

新年会は 11 時ミサ後、茶話会が原則、乾杯するかどうかはコロナ状況次第。

担当は灘北 1、北・三田地区。コロナ中止以後の新成人、転入、受洗者の紹介、挨拶あり。

5) 教会遠足

10 月 22 日（土）参加応募 23 人 中村神父、ニティン神学生も参加。草津教会でミサ。

6) バザー準備状況（略）

7) 2023 年度「活動計画と予算申請」

コロナ規制をないものとして立案、12 月の小教区評議会で審議。

Ⅳ その他

・教会主催の講演会を開き、外部の人を呼ぶ試みはどうか。

・クリスマスの飾りつけは 11 月 20 日の 11 時ミサ後に、典礼講習会は同日 14 時から開始する。

以上

次回（第 4 回小教区評議会）は 12 月 11 日（日）13 時から第 1、2 会議室にて

注：主日のミサ時間帯の表記は評議会開催時点から変更されたものに合わせて修正しています。（下線つき）

三日月会の皆さま

主任司祭: 英 隆一朗



コロナウイルスによる感染症流行の中、どのようにお過ごしでしょうか。教会活動は少しずつ再開しているところです。まだ油断できない面があるからこそ、皆さん一人ひとりが神さまとしっかりとつながり、また、教会の友人の方々ともつながっていくことを強く願っています。

さて、三日月会の皆さんに主任司祭からお願いしたいことがあります。一言で言うと、皆さんの祈りによって、教会を支えてもらいたいということです。教会活動は世俗的な活動とは異なり、神の恵みなしには成り立たないものです。祈りなしには教会は成立しません。そこで、三日月会のメンバーに、取りなしの祈りをささげるようお願いしたいです。皆さんの祈りによって、教会を支えてください。

やり方は以下のとおりです。主任司祭より、祈ってほしい意向がありますので、そのために祈りをささげてください。

お願いしたい意向

1. コロナや病気、その他の理由で教会に来られない方々に、神さまの豊かなあわれみが注がれますように。
2. 教会に若い人たちが集まり、社会と教会の将来を力強く築いていくことができますように。
3. 「六甲教会の祈り」が実現しますように。教会が出向いて行き、多くの人びとの救いの手助けができますように。

やり方

1. 例えば、12時と18時に教会の鐘が鳴ります。その鐘の時間に合わせて祈ってみてください。もちろんその他の時間いつでもかまいません。
2. 祈りは、主の祈り・アベマリアの祈り・六甲教会の祈りをそれぞれ1回ずつ唱えるだけです。これは主任司祭からのお願いですので、協力しようと思われる方がおられれば、ぜひお願いします。「六甲教会の祈り」を覚えておられない方も多いからです、以下に載せておきます。

六甲教会の祈り

父なる神よ、

私たち六甲教会共同体がロヨラの聖イグナチオの霊性を生き、「すべてを吟味して」何が神の御旨であるかを識別し、「すべてにおいて神を見出す」ことができるように祈る心を持たせてください。

私たちがキリスト者として、真の愛と深い交わりを求めて、互いに理解し合い、愛し合い、赦し合い、助け合う共同体となることができますように。

地域・文化・言語・社会的立場の枠をこえて、司祭・修道者・信徒が一致し、共に働き、教皇フランシスコが求めている「出向いて行く教会」を実現する勇気をお与えください。

私たちひとりひとりがおかれている場所で、知らずに福音を求めている人、助けを必要としている人、困難な状況におかれている人、隅に追いやられている人に手を差し伸べて、「共に喜び、共に泣く人」としてください。

私たちはイエスの弟子であり、遣わされた者であることに気づき、心にまかれた喜びの福音を多くの人に伝えることができますように。

アーメン

《 三日月会総会&懇親会 》

コロナ禍で2年間休会していた「三日月会の総会と懇親会」を10月10日に開催しました。例年なら100名以上の出席があり、賑やかな交流の場になっていましたが、コロナの影響もあって、今年は40名弱の参加と寂しい会となりました。

高齢化社会にあつて三日月も会員数が600名を超え、小教区にあつては大きな勢力となっていますが、病気や身体的理由から教会に来られない方もたくさんおられます。他方、寿命が延び元気印の高齢者もたくさんおられますが、三日月会への関心が薄い方もおられるのが現実です。

三日月会を与る私として、何とかこの会の活性化を図り、教会に貢献できるものはないか、会員同士の交流がはかれないか等、皆さんのご意見を聞きながらコロナ収束後の会の運営について考え、具体化していきたいと思っています。

英神父さんは、高齢者のつながりと支えあいをする為に、中村神父さんの病者訪問、信徒の聖体奉仕(案)の他に、三日月会がまず出来ることは、“お祈り”を実施して欲しいと言われています。お祈りは①教会に来られない高齢者に対し、②若者が教会に来られるように、そして、③「六甲教会

の祈り」の実施です。近日中に神父さんからも要請があると思います。

今後、教会からも三日月会活性化の為にいろいろな提案が出されると思いますが、是非、会員の皆様のご理解とご参加、ご協力をお願い致します。共に考え、一緒に歩んでいける三日月会でありたいと思います。次世代に引き継ぐためにも。何としても「心の老化」だけは避けたいものですね。(会長 蛭田 武)



待降節第一主日のミサから、新しい日本語訳の式文が使われます

11月26日(土)18時の待降節第一主日ミサより、新しい日本語訳の式文が適用されます。

新たなミサ式次第は、すでにいくつかの出版社から冊子が発行されています。六甲教会では、光明社の『ミサ式次第【会衆用】簡易版』(定価110円)を購入しました。信徒のみなさまには、1部100円で頒布いたします。待降節第一主日よりミサの前に聖堂入口の受付で販売しますが、事前にお求めの場合には11月6日(日)以降に教会事務室までお申し出ください。

すでに他の冊子をお持ちの場合には、ご購入いただく必要はありません。

なお、新しい日本語訳式文によるミサ式次第の講習会を以下のとおり行います。どなたでもご参加いただけます。みなさまのお越しをお待ちしております。(光明社の冊子は講習会の際にも販売します)

日時:① 11月20日(日)14時より

② 11月26日(土)13時より [①と②は同内容。約1時間の予定]

場所:主聖堂

講師:英 隆一朗主任司祭

(典礼部)

《 山内神父様をお迎えして「秋の黙想会」開催 》



10月8日(土) 15時～17時50分、「秋の黙想会」では、イエズス会山内保憲神父を講師にお迎えして、講話と黙想指導が行われました。テーマは、「イエズス会は今、どこへ向かおうとしているか」。イエズス会使徒職全体の方向づけ(UAPs: Universal Apostolic Preferences)について現状と問題点を具体的な例をあげながらお話しいただきました。山内神父様の講話は、六甲教会ホームページから視聴できます。ぜひアクセスしてみてください。また、本号の巻頭言にもあるように、UAPsについては、教会報12月号で英主任司祭からも、詳しいお話が頂けることになっています。

「祈りと音楽の集い」に参加して

塚崎 雄一

「祈りと音楽の集い バッハとイタリア」9月25日教会主聖堂2時半開演の、オルガン演奏会に誘われたボクは、これを小さなチャレンジと受け取りました。腹に響くオルガンの振動がきつともたす昼過ぎの「睡魔に抗う時間」と、誘ってくださった方への「忖度」を秤に掛け、参戦を決めました。

バッハで思い出すのは、娘の少女時代のピアノです。左右の指がまるで別の曲のような旋律を奏でる音に強く惹かれた。それは祈りより、天空に描かれた宇宙の神秘を再現する数式のようにでした。

演奏者のジャン＝フィリップ・メルカールトさん(写真)は、ミサで見慣れたオルガンの前の椅子を、見たことのない若々しい動作で軽くまたぎ座ると、誠実な清潔な音をタンタンと紡ぎ出しました。ボク個人は睡魔を忘れ、バッハで満ちた体は自然に軽やかにスウィングしました。演奏終了後、「たまや～」とか何か叫びたくなりましたが「ブラボー」とかの西洋語の感嘆の掛け声が聞こえました。

ベルギー人の青年演奏家が、ドイツのバッハの作曲した神への讃歌を、六甲村の日本人のボクによくぞ届けてくれたと真摯に感謝しつつ、昨夜の強風が、まるで今の世を表現しようとしてひしゃげた鐘楼の十字架の下を、温まった胸を抱いて帰路につきました。



私の好きな聖書のことば

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。～わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。～いまだかつて、神を見た者はいない。父の心ところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。」ヨハネ1:1-18

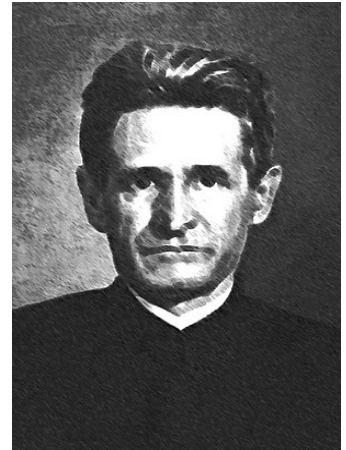


初めて読んだ時、これほど美しい文章があるのかと思いました。イエス様がどなたかを悉く表しているように思える箇所。「初めに、神は天地を創造された。～神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。」(創世記1:1-3)が全能の父なる神を表していると思えるように…

クリスマスの朝にヨハネ福音書の第1章が読まれると知った時、毎日がクリスマス(キリストのミサ)に思えました。表層ではどれほど思い悩み苦しもうと、魂の奥底ではいつも主の平和の裡にありますように…。 マリア堺 夕希子

今月の聖人 福者ルーペルト・マイヤー

彼は、第一次・第二次と世界大戦で二度も過酷な体験をしながら超人的な働きをしました。1876年ドイツ生まれ。イエズス会に1900年に入会しています。ミュンヘンで活動。第一次世界大戦中に従軍司祭として戦火をくぐり、自らも負傷して左足を失いました。第二次大戦ではナチスに徹底的に反抗し収容所に送られます。そして戦後はミュンヘンに戻り再び司牧活動を開始します。1945年11月、説教中に脳溢血を起こし、義足に支えられながら祭壇に寄りかかり息絶えました。まことに壮烈な人生を送った近代の司牧者と言えます。1987年にヨハネ・パウロ二世によって列福されました。（詫 洋一記）



《 教会遠足、近江八幡方面へ。草津教会訪問も 》

9月22日(土)、3年ぶりの教会遠足が、婦人会・壮年会の合同企画で開催されました。参加した22人の先行は、草津教会(写真)、そして近江八幡へ。天候に恵まれ、「水郷めぐりと近江牛のすき焼き」を楽しむ日帰りの小旅行となりました。

往路では渋滞に巻き込まれ、カトリック草津教会には1時間以上遅れて到着したにも関わらず、当地の信徒のみなさまに暖かく迎えていただきました。中村健三神父さまの司式によりミサが立てられ、草津教会のみなさまと共に与ることができました。束の間の交流に名残を惜しみつつ、一行は次の目的地へ。

安土水郷をめぐる屋形船には3班に分かれて乗船、船上での昼食となり、近江牛に舌鼓をうちました。エンジン音に驚く小魚を狙って、船にぴたりと付いてくる野生のカワウの動きが珍しく、大きなフナをくわえて水面に姿を現した時には、歓声が上がりました。下船後、近江八幡の市内観光組は、駐車場にバスを残して散策を始めました。三々五々、日牟禮八幡宮の方向へ。途中の街並みでお土産物の佃煮や、和菓子の店を覗いたり…。街の中には手漕ぎ船での堀割めぐりもあります。堀の周囲には色とりどりの番傘が並べられ、ライトアップの準備を始めていて観光客の夜の誘致にも意欲的です。約一時間の間に、狭い街中はおおむね見学できました。一方、近江銘菓の「たねや」のテーマパーク「ラコリーナ(イタリア語で「丘」の意味)組は、さまざまな植栽を楽しめる小径がめぐらされた広い敷地で、写真を撮りながらのんびりゆったりと過ごすことができました。大きな駐車場には、近隣県からの車が多く、奈良、神戸ナンバーもちらほら。隠れた人気スポットのようでした。ここでしか購入できないという焼きたてのバウムクーヘンが人気で、並ぶ列は70人にも。

小旅行の帰途は、さして渋滞もなく、全員が元気で六甲に戻りました。旅の無事をお守りいただいた神様に感謝したいと思います。(大上尚子)



カトリック草津教会
(教会堂名：復活の
キリスト)新聖堂は
1991年に竣工し、同
年7月に献堂式が行
われた。
堂内は、コロナ対策
で席間が空けられて
いるが、200人収容
可能。中村神父の司
式を待つ皆さん。



水郷めぐりの
屋形船で
昼食。近江
牛を堪能し
た皆さん。

英子：お久しぶりね。元気してた？

美佐：在宅勤務のうえ仕事が減り、コロナ禍のおかげで沢山本を読んだわ。特に身体が自由がきかない作家たちのね。

英子：「氷点」の三浦綾子さんは脊椎カリエスで13年間寝たきりだったのは有名なね。

美佐：群馬県の元体育教師、星野富弘さんもすごいよね。「花の詩画展」を海外あちこちで開催したり今も頑張っておられるわ。

英子：頭が下がるし、何より勇気が与えられるわね。

美佐：で、「座古愛子」さんて知ってる？

英子：初めて聞く名前だわ。

美佐：明治11年生まれの彼女は少女時代にリュウマチに侵され68歳で亡くなるまで生涯寝たままの生活を送ったの。多

くの詩・歌・随筆を発表し、明治末期から昭和初期まで、彼女の書を読んで生きる勇気と力を与えられた人は数え切れないうわ。けれども戦後彼女の名は忘れられ、その著書も今ではほとんど入手できないらしいの。

英子：そんな人がいたのね。

美佐：座古愛子さんを知ったのは、浄土真宗の念仏者、中村久子さんの自叙伝「こころの手足」からなのよ。

英子：念仏者って？

美佐：南無阿弥陀と唱える信者のことよ。中村久子さんも幼少の頃突発性脱疽にかかり両手足を切断、以後四肢なき子として筆舌に尽くし難い人生を歩んだ人なの。おまけに彼女たちは貧困のなかで生きていた。

英子：私だったら絶望しかないわ。

美佐：三浦さん、星野さん、座古さんは皆イエス・キリストを信じるクリスチャンよ。なんと座古愛子さんは、神戸女学院校内で購買部を設け、伝道と購買で19年間寝たままの状態でごしていたんだって。

「悩める者を慰めを以て救ふなら分かってゐますが、悩みそのものを用ゐて、救ひ給ふとは腑に落ちぬと思ふべきですが、救はれた者には、逆から来た恩恵が分かります。」(座古愛子著『闇より光へ』p155～p157) ってあるのだけど。前半は分かる気がするものの、「逆から来た恩恵」って難しいわ。困難そのものが救いみたいなの…まだまだ「救はれた者」の自覚がないせいね。

(マルガリタ・マリア

岩田聖代)

《 図書室からのお知らせ 》

10月に入った図書

☆ 社会の中で虐げられている人たちから学んだ —タグレ枢機卿の人生、そして希望—

ジェロ・ラモ・ファッツィーニ、ロレンツォ・ファッツィーニ、他著 訳 古川 学 サンパウロ

2013年のコンクラーベで注目されたフィリピンからのタグレ枢機卿へのインタビュー。彼は3年前から教皇庁福音宣教省長官を務めています。普通の平服を好み、バスでの外出など教皇フランシスコのスタイルに近い・・・「タグレ枢機卿が話し出すと、司祭も、司教も、教皇もみんな耳をすまします。彼は「喜びの人」です。その顔を見れば、聖霊のしるしが刻まれていることに気づくはずです。」(ガクタン仙台司教)

☆ 「わたしはだれの死をも喜ばない。お前たちは立ち帰って、生きよ」 (エゼキエル 18・32)

—カトリック教会と死刑廃止—

正義と平和小論集 Vol.10

日本カトリック正義と平和協議会

・死刑廃止を考えるブックレットです。高見三明 ホアン・マシア 竹内修一 原田従子 高木慶子 (執筆順)

《お願い》 ※ 教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その図書の推薦文や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出てください。

またお気付きのこと、希望の図書等ご遠慮なくお知らせ下さい。

※ 学習室としての開放に伴い、雰囲気が多少変わります。よろしく願いいたします。

◇開催まちか！ チャリティーバザー 11月13日（13時～16時）

【バザー寄贈品のお願い：新品もしくは新品同様のもの】

蚤の市 10月15日（土）～11月6日（日）まで

提出場所：聖堂入口

衣料品 11月4日（金）～11月12日（土）まで

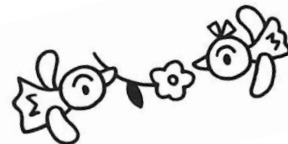
提出場所：信徒会館1階奥

手作り焼き菓子 当日、イグナチオホール台所に。カット売りも1台売りも包装済にして、すぐに販売できる状態にして持ってきてください。

チャリティーバザー売上金の主な献金先

- ・東チモール聖イグナチオ学院
- ・NPO こどもの里
- ・カトリック社会活動神戸センター

★バザーの収益金は、
支援先に全額献金されます。



・バザー出店のボランティアグループ 信徒会館 2階で販売 社会活動部

知的、身体的ハンディを持っている仲間、貧困で教育を受けられない子どもたち、難民など、谷間に置かれている人々を支援しているボランティアグループが3年ぶりに出店し、せつけん、手作り品、焼き菓子などを販売致します。売上金はすべて支援先に送ります。

皆様のあたたかい支援、ご協力を切にお願い致します。出店グループは以下の通りです：
かなの家、東条湖の家、こどもの里、コンゴ、ラリグランズ、荒野の泉、手芸部、シナピス工房、ピエタ 以上9団体、（ピエタだけ聖堂入口の風除け場でカトリックグッズ販売）

社会活動部 今月の予定

11月 2日（水） 10:00～

手芸部

信徒会館2階第1、第2会議室

11月 13日（日） 13:00～

バザー出店

信徒会館2階第1、第2会議室

11月 28日（月） 9:30～

ともしび会

イグナチオホール台所

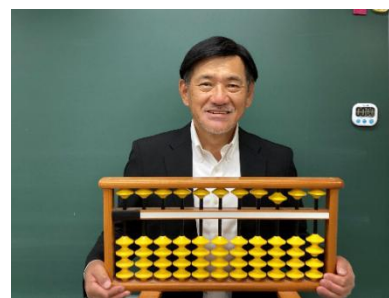
・炊き出しはバザー前日のため今月はお休みです。

教会のご近所訪問

キッズ珠算会（クエスト企画・カレッジ神戸）

阪急六甲駅タクシー乗り場の、すぐ西の建物の2階にあります。子どもたちを相手の「学習塾」。とくにそろばん塾が特徴です。いまだき「そろばん？」と思われるかもしれませんが、パソコン全盛時代のいま、むしろ見直されています。そろばんは右脳を活性化させ、集中力や忍耐力、記憶力を高める効果があり、単なる計算道具ではなく、「脳を鍛える能力開発の道具」だそうです。

キッズ珠算会の教室は、ここ阪急六甲教室が本部ですが、阪神間に約50か所の直営教室を展開しています。生徒は就学前の児童から大人まで幅広く、日本そろばん検定協会の資格を取得していますので、ここで検定試験を受けることができます。塾長は岸本忠生さん（66歳）。この塾を38年前に学習塾として設立しましたが、15年前にそろばん塾を開始。パソコン時代の波を受けた空白期を克服して、いまは全教室で2,000人の生徒を抱えるほどに成長しました。ベトナムにもハノイなど2か所に教室があります。「成長はそろばんから」と子どもたちに未来を託す岸本さんです。（写真は塾長の岸本さん）





幼少だったころ、「笛吹童子」というラジオドラマが放送されていました。子ども心に童子が吹く横笛のもの悲しい音色が深く心に刻まれたのです。少年時代病弱だった私は、中学・高校時代に笛を吹くことは叶いませんでした。

大学生になった時にフルートを吹くことを思い立ち、オーケストラ部に入部しました。ところがそこには、中学・高校時代、吹奏楽部で鍛えられた猛者たちがおり私の出番はありません。ようやく4年生になって演奏会に出演するのが精一杯でした。就職してからもしばらくは続けていたのですが、仕事が忙しくなる中、ゴルフなどほかのお付き合いもあり断念せざるを得ませんでした。

再開したのはすべての仕事が終わった70歳になってからです。約40年近く眠っていた楽器に詫びをいれ、吹き始めました。それから月2回レッスンに通い、学生時代にあこがれたビゼーやドップラー、バッハやモーツァルトの名曲をわが手で吹きたいという切なる思いで練習を続けています。一方、神戸市のフルート500人のアンサンブルや仲間内の発表会などで演奏を楽しんでいます。今では、演奏している時間は本当に楽しい貴重な時間になっています。

2022 年度「秋の墓参」（11 月 6 日）についてのお知らせ

- ・2019 年の秋以来3年ぶりに「個人墓地の祝別」を実施し、「納骨式」と合せた形で「秋の墓参」を行ないます。
- ・ただし、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、密を避けるために、対象者と時間帯を分けて、以下の時間設定（※ 長峰墓地での時刻）で実施します。
 - ① 14:00～：納骨式（※ 参加できるのは、今回納骨される方のご家族・ご親族のみ）
 - ② 14:30～：個人墓地の祝別（※ 各個人墓地の前で待機）
 - ③ 15:30～：既に共同墓地に納められている方のための「墓参の祈り」の会
（※ 共同墓地で間隔をあけて）（墓地委員会）

◇掃除当番の地区と日にちが 11 月から変更になります

2022 年	2023 年	
11 月 4 日（金）東灘北 1	1 月 6 日（金）灘南・神戸西	3 月 3 日（金）灘北 2・阪神
11 日（金）東灘北 2・芦屋	13 日（金）灘西・中央	10 日（金）灘南・神戸西
18 日（金）東灘南	20 日（金）東灘北 1	17 日（金）灘西・中央
25 日（金）灘北 1・北・三田	23 日（月）定期清掃	27 日（月）定期清掃
28 日（月）定期清掃		
12 月 3 日（土）大掃除	2 月 3 日（金）東灘南	
11 日（日）日曜班	10 日（金）東灘北 2・芦屋	
23 日（金）灘北 2・阪神	12 日（日）日曜班	
	24 日（金）灘北 1・北・三田	

イグナチオ・ロヨラの息吹〔6〕

イグナチオの息子たち：称賛と敵対の嵐にもまれて

中村健三神父

1540年にパウロ三世によって、イエズス会として正式に認可されたが、当初の会員数は60人と限定を受けていた。しかし創立者の死後にまたたく間に全ヨーロッパに広がり、当時は余り重視されていなかった高等教育の現場に大きな変革をもたらした。特に司祭を養成する神学校、青少年を育成する学校、専門の知識を与える大学設立に大きく貢献し、会員数も増大した。また霊操指導や信徒への宣教にも献身した。また宗教改革の大動乱にさいしてカトリック教会の正統信仰を擁護してドイツ、ポーランド、オーストリアで懸命に働いた。その延長線上に、ブラジルや米国アリゾナ州や日本や中国における多難な海外宣教の働きがあった。

しかしながら、これほどの奮闘や躍進に内からも外からも軋轢や嫉妬や反感の標的にされた。その問題点について少し説明をしておこう。その一つは典礼論争である。M・リッチは中国の人々にキリスト教の福音を宣教するために、現地では当然の皇帝への儀礼や風習を尊とび、自らも実践して大きな布教の成果を得たが、ヨーロッパの多くの教会人にはそれは逸脱や迎合と映り、後には教皇庁も現地における順応や適応を禁止した。またモリーナは、人間の自由と神の恵みを巡る微妙な神学論争で、ドミニコ会を相手に激しく戦い大きな騒動になった。第四の誓願によって、会員は教皇の精鋭部隊と言われ歴代の教皇はイエズス会を

重く用い、おおむね好意的であった。しかし18世紀に入って時代は大きく変わり、国家や民族の自決権の主張や独立気運の高まりは、教皇（バチカン）の手にする至上・絶対権と厳しく衝突した。こうして教皇の先兵を自認するイエズス会は、ポルトガル、フランス、スペイン、イタリアから追放され、彼らの修道院や学院はすべて没収された。1773年7月には諸国からの強圧によって、クレメンス14世教皇はイエズス会の解散命令を出し、時の総長・リッチは囚人としてサンタンジェロに監禁され獄死した。皮肉なことにローマカトリックではないロシア（エカテリーナ二世）とプロシア（フリードリッヒ二世）において、教皇の勅書は公表されなかったので彼の地でのみ細々と教育活動を続けた。遂に1814年になって、ピオ七世によってイエズス会は再興され今日に至っている。

イグナチオの息子たる事を誇りとする現代の会員も、このような毀誉褒貶の歴史・盛衰の歩みを顧み、ジェスイットという言葉には今も、腹黒い・陰険な・ずる賢い・詭弁を弄する、という意味もあることを真摯に受け止め、行動を正していきたいものだ。

「わが神、わが神、なにゆえ私を捨てられたのですか。人にそしられ、民に侮られる。彼は主に身を委ねた、主に彼を助けさせろ。」



【お詫びと訂正】 10月号2頁「新しいミサ曲を学ぶ」研修会講師のお名前に誤りがありました。宮腰俊光さん（誤）⇒宮越俊光さん（正） お詫びして訂正します。

【2022 年 11 月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		諸聖人 ミサ 7:00 10:00	死者の日 ミサ 7:00 10:00	教会受付 休み	初金曜日ミサ 7:00 10:00 聖体顕示 10:00 ミサ後 ◎東灘北 1	教会学校 練成会～6 日
6	7	8	9	10	11	12
年間第 32 主日 手話ミサ 11:00 秋の墓参			ラテラン 教会の献 堂		◎東灘北 2・ 芦屋	教会学校休み
13	14	15	16	17	18	19
年間第 33 主日 チャリティー バザー 13:00					◎東灘南	
20	21	22	23	24	25	26
王であるキリスト 子どもミサ/七五三 祝福式 11 時ミサ中 クリスマス飾り付 け 11 時ミサ後 新ミサ講習会 14:00			教会受付 休み		◎灘北 1, 北・三田	新ミサ講習会 13:00 (内容は 20 日と同じ)
27	28	29	30			
待降節第 1 主日	◎定期清掃 (11 月 24 日 から変更)		聖 アンデ レ使徒			

◎は掃除当番地区です。すべての地区の当番日が変更になっていますので、ご注意下さい。

編集後記 秋の黙想会の日に合わせてイグナチオホールでは聖イグナチオ(1622 年 3 月 12 日に列聖)の生涯を示す展示が。その姿が、私達自身を新しくしていくための助けとなればーという言葉と共にありました。(N)

次回 12 月号の発行は 12 月 3 日(土)です。 原稿は毎月 15 日ごろまでに教会受付へ直接ご持参いただくか、FAX やメールでお願いいたします。皆様からの原稿をお待ちしています。 あわせてご意見もお寄せ下さい。広報部 http://www.rokko-catholic.jp	六甲カトリック教会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電話 078-851-2846 FAX 078-851-9023 E メール renraku@rokko-catholic.jp 発行責任者 英隆一朗 編 集 広 報 部
--	--